



ビジネストーク

「カーボン ニュートラル店舗」

頭取 大道 良夫

このたび、当行では栗東支店を「カーボンニュートラル店舗」として隣地に新築する運びとなりました。「カーボンニュートラル店舗」とは、最先端の省エネ設備と機器を最大限活用し、支店の営業活動で発生する温室効果ガス排出量を可能な限り削減するとともに、なお必要な電気については、太陽光発電システム導入による再生可能エネルギーを活用することで、CO₂（カーボン）排出量を実質的に「ニュートラル（中立）」にする先進的な環境配慮型店舗です。

具体的には、①室内・屋外照明に長寿命省エネルギーのLED照明②営業室全体の照度を最低限に抑えることで照明器具の台数を削減する一方、机に照明スタンドを設置して必要な明るさを確保しつつ省エネを実現する「タスクアンビエント照明」③太陽光を室内に取り込み照明として利用する「スカイライトチューブ」④排気から「熱」と「湿気」を給気する空気に戻し、排気による熱のロスを抑制する全熱交換器などをそれぞれ設置します。また、お取引先の環境に優しい製品や技術も積極的に導入するものです。

つまり、最新鋭の省エネ技術と設備や機器の活用で、CO₂排出量を従来型店舗に比べて34%（年間約30トン）削減します。そして、残る66%のCO₂排出量（年間約60トン）に相当する電力は、屋上と駐車場の屋根に約360枚の太陽光パネルを設置し、太陽光発電で賄うものです。また、営業車両として電気自動車一台導入し、電源はこの太陽光発電を活用します。

当行は、経営に環境を取り込んだ「環境経営」を

展開し、「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネ活動に努める「エコオフィスづくり」を進めてきました。

平成20年12月には、総合的な環境効率を高めた「しがぎん浜町研修センター」を建設し、当時、財団法人建築環境・省エネルギー機構が環境性能を総合的に評価する「CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）」で、最高評価の「S」ランクを取得しました。

一方、既存店舗の室内照明を順次LED照明に交換、新店舗には太陽光発電やソーラー外灯に加え、雨水利用や屋上緑化など環境配慮型の店舗づくりを行っています。

平成26年4月、「国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」は、地球環境の激変を避けるために必要な「気温上昇2℃以内に抑制」を実現するには、「今世紀末に世界全体の温室効果ガス排出量をほぼゼロにしなければならない」との内容を公表しました。私たちは、早急に「低炭素循環型社会」と「自然との共生」の実現に向け、経済成長と環境保全を両立する取り組みを強化しなければなりません。

新しい栗東支店は、平成27年3月中旬に営業を開始し、6月には店舗周りの工事を終え、グラウンドオープンの予定です。当行は今後とも、地域の皆さまと手を携えて持続可能な社会の実現に取り組みまいります。「カーボンニュートラル店舗」栗東支店を末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。